

令和6年12月18日

佐野市議会議長 川嶋 嘉一様

経済文教常任委員会委員長 早川 貴光

経済文教常任委員会行政視察報告書

- 1 期 日 令和6年10月29日（火）及び同月30日（水）
- 2 視察地及び視察事項
  - (1) 岡山県奈義町  
「しごとコンビニ事業について」
  - (2) 岡山県玉野市  
「産業創出の取組について」
- 3 派遣委員 早川貴光（委員長）、長浜成仁（副委員長）、川嶋嘉一、鈴木靖宏、久保貴洋、滝田洋子
- 4 随行者 議事課 議事調査係 中治 令子
- 5 視察概要 別紙のとおり

## 奈義町視察概要

(1) 岡山県奈義町（一般社団法人奈義しごとえん）

### 奈義町の概要

人口：5,751人（2023.3.1現在）

合計特殊出生率：2.95（令和元年）

面積：69.52km<sup>2</sup>

議員定数：10人

政務活動費：月額10,000円（奈義町議会政務活動費の交付に関する条例）

### 視察概要「しごとコンビニ事業について」

#### ○内容

##### ・経緯

子育てをしている母親やシルバー・シニア世代の方々から「ちょっとだけ働きたい、ちょっとだけだったら働ける」という声があがり、その声に応えるために短時間のワークシェアリング事業「しごとコンビニ」の案が生まれました。コンビニに行くように気軽に立ち寄れ、コンビニにある商品のように色々な種類のしごとがたくさんあり、その時々で自由に選べるということがその名の由来となっています。

2016年に「まちのしごと調査」を実施し、2017年春に閉鎖となっていたガソリンスタンドをリノベーションして「しごとスタンド」が完成しました。現在は、2019年6月に地域再生法人（社）ナギカラより（社）奈義しごとえんが引き継ぐ形で発足しました。

##### ・概要

雇用されるのではなく、業務委託契約を結び、様々なしごとの中から自ら選び働ける仕組みとなっています。

しごとの依頼の際は、ヒアリング（現場確認）や契約書・発注書等の手続き、研修やおしごとの実施、請求書の送付・報酬の支払い等の流れになっています。また、しごとをする際は、説明・登録会や個人面談（契約書等）、LINE@への登録等を経て、おしごと情報待ち（したいしごとがあればしごとえんへ連絡）の流れになっています。

しごとの案件としては、封入作業や仕分け、名札付け等があり（拠点内での作業）、草刈刈り・草取り、清掃や墓掃除等も行っています（拠点外での作

業)。また、事務作業として、文字おこしやデータ入力、アンケート集計等も行っています。

案件数は、令和4年度は972件となっており、年々増加傾向にあります。また、業務委託金額（働いてもらった人に支払った金額）は、令和4年度は1862万円となっており、1800万円から2000万円で推移しています。登録者数は、令和6年1月現在で310名（男性82名、女性228名）となっています。

#### ○所感

令和5年2月に岸田文雄総理大臣、小倉将信こども政策担当大臣や伊原木隆太岡山県知事が視察に訪れており、その他にも多くの自治体関係者が当地を訪問しています。奈義町は、合計特殊出生率が2.95（令和元年）であり、子育て面の取組でも注目度の高い自治体です。

今回視察をした「しごとコンビニ」事業は、その高い合計特殊出生率を支える一因となっているように思いました。担当者の説明の中で「安心感」が鍵になっている旨の話がありました。住むところがある安心、働くことができる安心、子育ての負担が軽くなる安心等、様々なキーワードの中のひとつに焦点を当てているのが当事業となっており、「人口6,000人を維持するためのひとづくりとまちづくり」のコンセプトのもと、活動を展開していました。

担当者より人口規模が6,000人前後だからできる取組なのかもしれない旨の話がありましたが、佐野市においても時代や地域に合わせた形の「安心感」の醸成に向けた取組の必要性を訴えていきたいと思えます。

## 玉野市視察概要

### (1) 岡山県玉野市

#### 玉野市の概要

人口：54,626人（令和6年4月1日現在）

面積：103.58km<sup>2</sup>

議員定数：19人

政務活動費：月額35,000円

#### 視察概要「産業創出の取組について」

##### ○内容

###### ・経緯

近年の都市部を中心としたテレワークの導入により、ライフスタイルや働き方に大きな変化が起きています。玉野市は岡山市と倉敷市の間に位置しており、また瀬戸内諸島との玄関口でもあることから、その立地特性を活かした取組「こころ、あらわれる場所へ。せとうち **Human Time**」を行っています。新たな働き方や価値観が変化する時代の中で、「ここでしかできない体験」と「地域と都市の新しい関係性」をつくることを目的として、ワーケーションツアーを行っています。

###### ・概要

玉野市が行っているワーケーションツアーは、「遊んでよし・働いてよし・暮らしてよし」を選ばれる3つの理由としており、せとうちの大自然で体験できるアクティビティ、普段とは違う環境にいて得られるインスピレーションやアイデア、北には岡山市（都市）、西には倉敷市（文化）、南には瀬戸内諸島と心身の健康（ウェルビーイング）によるリフレッシュ等をPRしています。

ワーケーションツアーとして、基本料金は玉野市が全額補助し、4泊5日のチーム向けの「チームビルディングワーケーションツアー」や全リモートワーカー向けの「玉野アートワーケーションツアー」を実施しており、定住促進を図っています。

##### ○所感

玉野市は、岡山県の南端に位置し、瀬戸内海の美しい自然に恵まれた温暖な港町です。「誰もが行ってみたい、住み続けたいまち ～たまので育つ、TAMANO

が育つ～」をコンセプトに、「希望をもって安心して子育てできるまち」や「来て、見て、住みたい、にぎわいあふれるまち」等、8つの基本方針を掲げ、様々な取組を展開しています。

今回はその中のひとつの取組であるワーケーションツアー等について視察を行いました。自らのまちの魅力を綿密に分析し、3つのポイントに分けてアピールしていました。岡山市から電車で約50分という点に目をつけ、「ちょっと不便な時間」すらも価値として見出している点は驚きました。

「コト消費・トキ消費」という言葉を時々耳にしますが、今回視察をした内容は、まさにこれからの時代に合った地域活性化策であると思いました。玉野市の立地や特徴等を多角的に捉え、行きたくなるような・住んでみたくなるような取組の考え方や組み立て方は、今後、佐野市において参考にできるものであると感じました。